

大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2026年 第18・19週（4月27日～5月10日）

今週のコメント

～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・咽頭結膜熱 今後の動向に注意」

第18週と第19週を合わせて報告する。大型連休のための医療機関の診療実日数の減少を考慮する必要がある。

第18週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,903例であり、前週比2.1%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.39、3.01、0.55、0.51、0.39である。

第19週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,161例であり、前週比39.0%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.36、1.51、0.42、0.35、0.28である。

感染性胃腸炎は前週比38%減の611例で、北河内5.05、中河内4.79、南河内3.93、大阪市南部3.76、三島3.65であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は50%減の274例で、北河内2.73、南河内2.07、大阪市西部1.80である。

RSウイルス感染症は24%減の77例で、大阪市北部1.08、中河内0.89、北河内0.64であった。

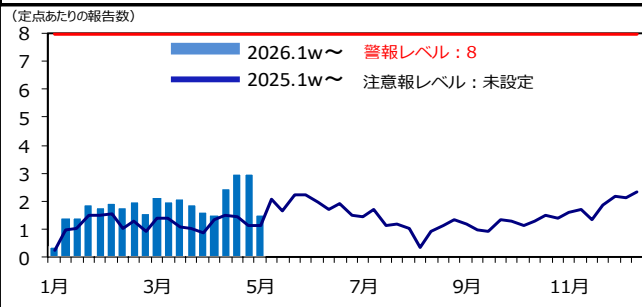
咽頭結膜熱は32%減の64例で、中河内0.74、三島0.59、泉州0.45である。

水痘は28%減の51例で、南河内0.93、大阪市北部0.46、三島0.35であった。

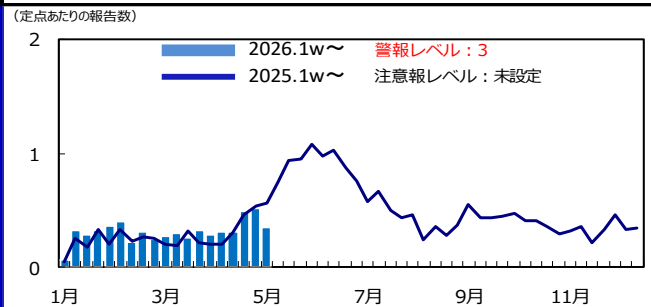
新型コロナウイルス感染症は27%減の68例で、定点あたり報告数は0.24である。大阪市西部0.87、南河内0.57、大阪市北部0.55、中河内0.21、三島0.19であった。

急性呼吸器感染症（ARI）は37%減の6,607例、定点あたり報告数は23.10である。大阪市北部31.60、南河内29.83、大阪市西部28.67、北河内27.06、中河内26.86であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



咽頭結膜熱



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2026年 第19週5月4日～5月10日）

第19週の順位	第18週の順位	感染症	2026年 第19週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2025年 第19週の 定点あたり 報告数	2026年第19週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	3.36	38%減	6.39	1歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.51	50%減	1.13	4歳_12%
3	3	RSウイルス感染症	0.42	24%減	0.20	1歳未満_34%
4	4	咽頭結膜熱	0.35	32%減	0.56	1歳_44%
5	5	水痘	0.28	28%減	0.23	10-14歳_29%
参考		新型コロナウイルス感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	0.24	27%減	0.75	1-4歳_22%
参考		急性呼吸器感染症 (急性呼吸器感染症定点報告疾患)	23.10	37%減	32.73	1-4歳_39%

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ（定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報）をご覧ください。

第19週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～ 大阪府の2025年の年間報告数は10例であった

全数把握感染症	
侵襲性髄膜炎菌感染症	
<p>侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌 (<i>Neisseria meningitidis</i>) による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜刺激症状、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群 (DIC) を呈する。髄膜炎ベルト (meningitis belt) とよばれるアフリカ中央部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、第三世代セフェム系抗菌薬等が使用される。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌 (血清型A、C、Y、W-135) ワクチンの任意接種が開始されている。</p> <p>大阪府内で侵襲性髄膜炎菌感染症患者が増加しています！ (大阪健康安全基盤研究所)</p> <p>侵襲性髄膜炎菌感染症(厚生労働省)</p>	<h3>年別累積報告数 (大阪府)</h3>

表2. 大阪府全数報告数 (2026年 第19週5月4日～5月10日)

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
 (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】>全数把握疾患 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内累積報告数									
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数	
3類感染症	細菌性赤痢	1		1								2
	腸管出血性大腸菌感染症	2								2		25
4類感染症	デング熱	1									1	3
	レジオネラ症 (肺炎型)	3		1		1					1	44
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1									1	41
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1								35
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1		17
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1									1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	1				1				5	107
	梅毒	8			1							7
	百日咳	2				1					1	131
結核 (2026年3月分)	結核 新登録患者数：77名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 21名) (府内累積報告数 254名、内 肺・喀痰塗抹陽性 84名)											

(2026年5月12日 集計分)